

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標 I みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策 1 あらゆる分野における女性の参画拡大（女性活躍推進法に基づく推進計画）

資料 3

施策の方向（1）政策・方針決定過程における女性の参画拡大

施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
市女性職員の採用及び登用の推進	計画的な人材育成や登用などの推進	○男性向けの仕事、女性向けの仕事といった固定観念にとらわれず、女性職員を多様なポストへ積極的に配置 ○企画主査や課長補佐などの各役職段階においてタレントプール（※4）を念頭に置いた人材育成	総務課	●性別に関わりなく、職員のこれまでの経験、実績等に基づき個人の能力が発揮される人事配置を行う。 ●職位に応じた能力の獲得と向上を図るための研修を実施する。	●性別に関わりなく、職員のこれまでの経験、実績等に基づいた人事配置を行った。 ●職位に応じた能力の獲得と向上を図るため、階層別の主催研修(マネジメント研修)を開催した。	●女性職員を多様なポストへ配置できた。 ●総務課・住民振興室は女性管理職となった。	・審議会などへの女性の登用率 ⇒30% ・市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒40% ・市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒20% ・女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒10% ・市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒13%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●経験のない分野では、管理職業務への不安も持つものがあると推測される。	●男性向けの仕事、女性向けの仕事という固定観念にとらわれず、男女ともに多様な仕事を体験させるよう配置する。	●性別に関わりなく、職員のこれまでの経験、実績等に基づき個人の能力が発揮される人事配置を行う。 ●職位に応じた能力の獲得と向上を図るための研修を実施する。	
市女性職員の採用及び登用の推進	女性管理職などへの登用の推進	○多様な職務機会の付与と研修の実施 ○管理職を対象とした意識改革研修の実施	総務課	●性別に関わりなく、いろいろな職務を経験させることを念頭に置いた人事配置を行う。 ●管理職を対象とした研修を実施する。	●性別に関わりなく、異なる分野の実務経験を積むための人事配置を行った。 ●管理職を対象とした主催研修(モチベーション向上・リスク管理)を開催した。	●令和4年4月1日現在の女性管理職比率は23.5%となった。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●課長補佐級職員の男女比率(27.1%)、企画主査級職員の男女比率(45.5%)と比較すると管理職の男女比率には差がある。	●性別に関わりなく、意欲のあるものは課長級への昇任試験を1年早く受験できるようにした制度を継続する。	●性別に関わりなく、いろいろな職務を経験させることを念頭に置いた人事配置を行う。 ●管理職を対象とした研修を実施する。	
委員数などの男女均等の促進	市の審議会委員などへの積極的な女性登用の推進や女性委員ゼロの審議会などの解消	○委員の選出団体に対して、積極的な女性委員の推薦を依頼 ○女性委員のいない審議会などに対する女性登用の働きかけ ○委員公募制度の活用(女性枠確保の検討)	総務課 全部局	●委員の選出団体に対して、積極的な女性委員の推薦を依頼する。 ●連絡会議で周知する。	●各団体への委員推薦依頼の際に、女性の積極的な選出を依頼する文面を記載するよう庁内で周知した。	●令和4年4月1日現在の審議会の女性委員割合は23.6%で、前年比+1.6%であった。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●一般公募を除いて、審議会等委員は各種団体からの推薦が主となり、各種団体の構成自体男性比率が未だ高く、女性の選出が難しいことが考えられる。	●審議会等の女性の積極的な選出依頼について、継続して働きかける。	●委員の選出団体に対して、積極的な女性委員の推薦を依頼する。 ●女性委員がいない審議会等に対して、働きかける。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅰ みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策1 あらゆる分野における女性の参画拡大（女性活躍推進法に基づく推進計画）

施策の方向（2）能力の開発・発揮の支援

施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
人材育成の推進	職場における女性リーダーの育成	○働く女性のキャリアアップなどの講座や研修の情報を広報おのや市ホームページなどに掲載 ○県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動の実施	産業政策課	(★1) ●女性の管理職登用などに取り組む企業を認定し、広報おのや市ホームページに掲載する。 ●県や商工会議所などの関係機関や団体と連携して啓発活動を実施する。	(★1) ●女性の管理職登用などに取り組む企業を表彰し、広報おのや市HPに掲載した。 ●県や商工会議所など関係機関と連携し、認定事業への参加を促進した。	●認定企業をPRし、他の企業の女性登用を啓発することができた。	・審議会などへの女性の登用率 ⇒30% ・市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒40% ・市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒20% ・女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒10% ・市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒13%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●女性の管理職への登用については、女性のスキルアップや意識改革を引き続き行う必要がある。	●市内の女性の職場でのスキルアップ環境の改善や意識の変化等に合わせ、引き続き、女性の役員等への登用を行う企業を増やすための啓発に努める。	(★1) ●女性の管理職登用などに取り組む企業を認定し、広報おのや市ホームページに掲載する。 ●県や商工会議所などの関係機関や団体と連携して啓発活動を実施する。	
人材育成の推進	地域における女性リーダーの育成	○様々な分野で活躍する女性リーダーを招へいし、講座やワークショップを開催 ○女性活躍をテーマとした講演会の開催	総務課	●働く世代の女性を主な対象とし、グループワークを取り入れた講座を開催する。	●キャリアコンサルタントを招き、「ライフキャリア講座～自分らしい働き方、生き方をみつけよう～」と題し、女性リーダー育成セミナーを実施した。	●19名の参加があり、アンケート結果から満足度は64%であった。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●参加者数の増加を図る必要がある。	●参加しやすい講座等の企画をする。	●女性がリーダーを担うことへの機運の醸成を図るため、講座やワークショップを開催する。	
人材育成の推進	地域における女性リーダーの育成	○様々な分野で活躍する女性リーダーを招へいし、講座やワークショップを開催 ○女性活躍をテーマとした講演会の開催	生涯学習・文化財保護課	●大野男女共同参画ネットワーク30周年記念式典・講演会を開催する。	●世界で活躍する福井県立福井商業高校JETSによるチアダンス、オリンピックメダリストの山口香さんによる記念講演会を開催した。参加者は286名	●10代から70代以上と幅広い年齢層で例年の講演会等では参加の薄い年齢層や男性の参加者に男女共同参画に対する意識啓発を図ることができた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●今回記念式典・講演会ということで予算をかけ実施できたが、男女問わず幅広い年齢層から関心のある出演者を呼ばないと、集客が困難である。	●今後は、通常の推進講演会として市民に働きかけを行っていく。	●大野男女共同参画ネットワークに対する支援を継続する。 ●大野男女共同参画ネットワークと連携し、男女共同参画に関する講演会を開催する。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅰ みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策1 あらゆる分野における女性の参画拡大（女性活躍推進法に基づく推進計画）

施策の方向（2）能力の開発・発揮の支援

施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
人材育成の推進	研修会への参加支援や学習会開催情報の提供	○市ホームページなどへの掲載 ○公民館を活用した広報の実施	生涯学習・文化財保護課	●予定なし	●大野男女共同参画ネットワーク主催の30周年記念式典・講演会及び学習会について、市広報紙、市ホームページ、LINEへの掲載、公民館等施設を活用したチラシ、ポスターの設置を実施した。	●大野男女共同参画ネットワーク主催の30周年記念式典・講演会及び学習会の申込者数は、361名、43名であり、多くの市民に対し周知できた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●研修会への参加支援や学習会開催情報を引き続き提供していく必要がある。	●今後も継続して、情報提供を行っていく。	●大野男女共同参画ネットワーク主催の学習会及び推進講演会について、市広報紙、市ホームページ、LINEへの掲載、公民館等施設を活用したチラシ、ポスターの設置を実施する。	
施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	
人材育成の推進	大野男女共同参画ネットワーク加入団体に向けた支援の継続や協働事業の実施	○大野男女共同参画ネットワーク加入団体の活動を通じた連絡と提携の強化 ○大野男女共同参画ネットワークによる市民学習会を通じた意識啓発の実施	総務課	●大野男女共同参画ネットワークに事業を委託し、学習会等を開催して意識啓発を図る。	●大野男女共同参画ネットワークに事業を委託し、「男性の家事育児参加講座」を開催した。	●39名の参加があり、男性の家庭での役割について意識啓発を図ることができた。	・審議会などへの女性の登用率 ⇒30% ・市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒40% ・市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒20% ・女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒10% ・市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒13%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				—	—	●大野男女共同参画ネットワークに事業を委託し、学習会等を開催して意識啓発を図る。	
施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	
人材育成の推進	大野男女共同参画ネットワーク加入団体に向けた支援の継続や協働事業の実施	○大野男女共同参画ネットワーク加入団体の活動を通じた連絡と提携の強化 ○大野男女共同参画ネットワークによる市民学習会を通じた意識啓発の実施	生涯学習・文化財保護課	●大野男女共同参画ネットワークに対する支援を継続する。	●大野男女共同参画ネットワーク主催の男性の家事育児参加講座としてワークショップ付きの学習会を開催した。参加者39名	●学習会を通じて市民の男女共同参画への意識向上が図られた。 ●団体加盟し、連携強化が図られた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●加入団体の構成員が高齢化しており、男女共同参画の理念について幅広い年齢層に働きかける必要がある。	●今後も、男女共同参画の大切さを地道に説くことで、幅広い層の団体へのネットワーク加入を促す。	●大野男女共同参画ネットワークに対する支援を継続する。 ●大野男女共同参画ネットワークと連携し、男女共同参画に関する講演会を開催する。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅰ みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策1 あらゆる分野における女性の参画拡大（女性活躍推進法に基づく推進計画）

施策の方向（3）女性の労働環境づくり

施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
女性起業家の支援	経営共同参画のための情報の提供	○女性の経営能力向上のためのセミナー情報を広報おおのや市ホームページなどに掲載 ○県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動の実施	産業政策課	(★1と併せて実施) ●市内企業に働きかけ、経営共同参画のための情報を提供してもらう。	●女性の経営参画に関するセミナーのチラシを窓口を設置したほか、女性の管理職登用などに取組む企業などを対象としたセミナーを開催、市HPで女性の管理職登用等に取り組む企業の周知を図った。	●女性の管理職登用などに取組む企業を周知することで、他企業に啓発することができた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●経営共同参画を行う女性を育成するためには、雇用企業が積極的に情報提供を行う環境整備を推進する必要がある。	●今後も継続して、市内企業に働きかけを行っていく。	(★1と併せて実施) ●市内企業に働きかけ、経営共同参画のための情報を提供してもらう。	
施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	
女性起業家の支援	女性起業家の運営する事業や取組みに対する支援	○起業家・経営者支援事業の実施による店舗改修経費の支援 ○県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した新規事業の立ち上げのサポートやフォローアップの実施	産業政策課	●創業の機運を醸成する取り組みの実施 ●大野商工会議所等と連携し、広報を行う。	●大野商工会議所などと連携し、女性が起業する場合の店舗改修に対して補助内容を拡充して実施するとともに、広報や相談受付を行った。	●市の店舗改修補助実績はなかったが、創業融資や県や国の補助金の活用などのサポートにより、女性創業の機運を醸成することができた。	・審議会などへの女性の登用率 ⇒30% ・市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒40%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●潜在的な創業者の掘り起こしが一層必要	●創業機運を醸成する取り組みを実施していく。	●創業の機運を醸成する取り組みの実施 ●大野商工会議所等と連携し、広報を行う。	・市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒20% ・女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒10%
施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	
賃金格差の解消	男女間の賃金格差の是正の推進	○県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動の実施	産業政策課	●県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動を実施する。	●働く人にやさしい企業応援事業の中で、女性リーダー育成の取組みについて啓発する講座を実施した。	●女性の管理職登用などを促し、男女間の賃金格差是正について、意識啓発を行うことができた。	・市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒13%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●社会全体の意識改革を引き続き促していく必要がある。	●今後も継続して、市内企業に働きかけを行っていく。	●県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動を実施する。	
施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	
再就職に関する支援	新型コロナウイルス感染症拡大のような非常時の影響や子育て、介護などで離職した人に対する再就職の支援	○福井労働局や商工会議所などと連携した相談窓口の設置	産業政策課	●関係機関と連携し、相談窓口設置に関する情報を広報おおのや市ホームページに掲載する。	●関係機関と連携し、相談窓口を設置したり、国の支援制度を市ホームページで紹介するなど、相談に応じた。	●関係機関と連携し、相談に応じることができた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●関係機関と連携して、ケースバイケースで相談に対応する必要がある。	●今後も継続して、関係機関と連携した相談対応を行っていく。	●関係機関と連携し、相談窓口設置に関する情報を広報おおのや市ホームページに掲載する。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅰ みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策1 あらゆる分野における女性の参画拡大（女性活躍推進法に基づく推進計画）

施策の方向（4）地方創生に必要な男女共同参画の推進

施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
地域における女性活躍の推進	各団体における会長や役員などへの参画の推進	○啓発用パンフレットの配布や学習会の開催	全部局	<ul style="list-style-type: none"> ●女性リーダー育成講座を開催し啓発を図る。(総務課) ●市内事業所での女性リーダー職の啓発を行う。(産業政策課) 	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアコンサルタントを招き、「ライフキャリア講座～自分らしい働き方、生き方をみつけよう～」と題し、女性リーダー育成セミナーを実施した。(総務課) ●働く人にやさしい企業応援事業の中で実施する講座の中で、女性リーダー育成について啓発した。(産業政策課) 	<ul style="list-style-type: none"> ●19名の参加があり、アンケート結果から満足度は64%であった。(総務課) ●女性活躍の促進を啓発することができた。(産業政策課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会などへの女性の登用率 ⇒ 30% ・市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒ 40% ・市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒ 20%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				<ul style="list-style-type: none"> ●継続的に啓発し、地域で活躍する女性を育成する必要がある。(総務課) ●女性の管理職への登用については、女性のスキルアップや意識改革を引き続き行う必要がある。(産業政策課) 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で活躍する女性を講師として講座を開催する。より参加しやすい方法を検討する。(総務課) ●市内の女性の職場でのスキルアップ環境の改善や意識の変化等に合わせ、引き続き、女性の管理職への登用を行う企業を増やすための啓発に努める。(産業政策課) 	<ul style="list-style-type: none"> ●女性リーダー育成講座を開催し啓発を図る。(総務課) ●市内事業所での女性リーダー職の啓発を行う。(産業政策課) 	
施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	
男性の固定的役割分担意識の解消	男女共同参画社会の実現に向けた男性に対する啓発活動の強化	○イクメンやイクボスなど男性の意識改革をテーマとした講座の開催	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ●男性の意識改革をテーマとした子育て講座を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●父親と3歳から小学生の子どもを対象として、「大野っ子ママもパパも一緒に子育て講座」を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●5組14名の参加があり、アンケート結果から満足度は100%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒ 10% ・市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒ 13%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				<ul style="list-style-type: none"> ●募集に対し、参加者数が少なく、増加を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●参加しやすい講座等の企画をする。また、父親の家事、育児等の相談を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●男性の意識改革をテーマとした子育て講座を開催する。 	
施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	
男性の固定的役割分担意識の解消	男女共同参画社会の実現に向けた男性に対する啓発活動の強化	○イクメンやイクボスなど男性の意識改革をテーマとした講座の開催	生涯学習・文化財保護課	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習センター、公民館等で子育ての意識改革を促す学習会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習センターにおいて、大野男女共同参画ネットワーク主管の男性の家事育児参加講座としてワークショップ付きの学習会を開催した。参加者39名 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習会を通じて市民の男女共同参画への意識向上が図られた。 	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画の理念について幅広い年齢層に働きかける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も、男女共同参画の大切さを地道に説く学習会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習センター、公民館等で子育ての意識改革を促す学習会を開催する。 	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅰ みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策1 あらゆる分野における女性の参画拡大（女性活躍推進法に基づく推進計画）

施策の方向（4）地方創生に必要な男女共同参画の推進

施策の内容	施策の内容（詳細）	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
女性と農業の関わりの推進	女性が気軽に農業に関わることができる環境の整備	○農林産物の栽培講座や農業体験など気軽に農業に触れ合うことができる環境の整備 ○道の駅直売所や朝市などへの農林産物の出荷、越前おおの農林楽舎が実施する野菜の集荷販売事業の促進 ○農業の6次産業化の推進 ○家族経営協定の締結促進	農業林業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●農林産物の栽培講座を開催する。 ●七間朝市に関するイベントの告知や、産直の会などへの登録者募集を広報やwebを活用し行う。 ●家族経営協定に関する制度を周知し、農家の相談に応じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●野菜栽培講座を3回開催した。(のべ56名が受講、うち32名が女性) ●七間朝市を体験できる「みんな感謝の日曜日」の告知を広報等で行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●野菜集出荷事業「うごく八百屋おのさん」や「産直の会」などの参加を促し、農産物を販売する機会の創出で、女性が農業へ関わる環境の整備を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会などへの女性の登用率 ⇒30% ・市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒40%
				<p>Check 見えた課題</p>	<p>Act 改善方策</p>	<p>Plan 令和5年度実施計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒20% ・女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒10%
				<ul style="list-style-type: none"> ●農産物の栽培について関心のある方はいるが、担い手を目指す方は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●農林産物の栽培講座などを開催し、女性、若者、高齢者や農家、非農家を問わず、誰もが農業に取り組むきっかけ作りの場を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●野菜栽培講座を開催する。 ●野菜集出荷事業「うごく八百屋おのさん」や「産直の会」への参加を促す。 ●農業の6次産業化に対する補助を行い促進する。 ●家族経営協定に関する制度を周知し、農家の相談に応じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒13%

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標 I みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策 2 ワーク・ライフ・バランスの実現の環境づくり

施策の方向 (1) 男女がともに働くための環境整備

施策の内容	施策の内容 (詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
労働環境の改善	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働き方改革の推進	○働き方改革に取り組んでいる事業所の情報を広報おおのや市ホームページなどに掲載 ○県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動の実施	産業政策課	(★1と併せて実施) ●働き方改革に取り組む企業の情報を広報おおのや市ホームページに掲載する。 ●県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動を実施する。	●女性の管理職登用などに取組む企業を市HPで紹介した。 ●県や商工会議所など関係機関と連携し、認定事業への参加を促進した。	●ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、企業の働き方改革の意識啓発ができた。	・ 審議会などへの女性の登用率 ⇒ 30% ・ 市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒ 40% ・ 市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒ 20% ・ 女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒ 10% ・ 市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒ 13%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
労働環境の改善	労働関連の法令遵守の推進	○労働基準法や男女雇用機会均等法などの労働関連法令の遵守に関する情報を広報おおのや市ホームページなどに掲載 ○県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動の実施	産業政策課	●労働基準法や男女雇用機会均等法などの労働関連法令の遵守に関する情報を広報おおのや市ホームページなどに掲載 ●県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動を実施する。	●福井労働局と連携し、最低賃金改定など労働環境にかかる情報について、広報おおのや市ホームページに掲載し、企業へ啓発を行った。	●労働環境の改善を啓発することができた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
ポジティブアクション (※5)の推進による男女格差の是正	事業所などにおける女性管理職の登用促進	○女性の登用促進に関する情報を広報おおのや市ホームページに掲載 ○県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動の実施	産業政策課	(★1と併せて実施) ●女性の管理職登用などに取組む企業を認定し、広報おおのや市ホームページに掲載する。	●男女共同参画に取り組む企業の情報を広報おおの及び市ホームページに掲載した。	●女性管理職の登用促進について啓発することができた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●関係機関と連携し、労働関連法令遵守を一層推進していく必要がある。	●今後も継続して、市内企業に働きかけを行っていく。	●労働基準法や男女雇用機会均等法などの労働関連法令の遵守に関する情報を広報おおのや市ホームページなどに掲載する。 ●県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動を実施する。	
				●関係機関と連携し、女性管理職の登用を促進していく必要がある。	●今後も継続して、市内企業に働きかけを行っていく。	(★1と併せて実施) ●女性の管理職登用などに取組む企業を認定し、広報おおのや市ホームページに掲載する。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標 I みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策2 ワーク・ライフ・バランスの実現の環境づくり

施策の方向(1) 男女がともに働くための環境整備

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
男性の家事や育児への参画促進	男性を対象とした家事や育児に関する啓発	○児童や生徒と保護者との親子のふれあい講座の開催 ○料理教室や家庭教育講座の開催	健康長寿課	●育児相談会を実施し、子育て支援センター職員の協力を得て親子ふれあい遊びについての情報提供など行う。 ●赤ちゃん訪問や電話を通して、育児相談会への参加の呼びかけを強化する。	●育児相談会を実施し、子育て支援センター職員による親子ふれあい遊びを実施 (開催回数)23回/年 (参加者数延べ) 育児:186人 保護者:192人(内父親14人)	●育児相談会に参加した保護者に対して、育児方法や離乳食等の指導を通してきめ細やかな支援ができた。また助産師による母乳育児推進や、救急救命士による救急法の知識普及ができた。	・審議会などへの女性の登用率 ⇒30% ・市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒40% ・市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒20% ・女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒10% ・市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒13%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●新規参加者数が少ない。 ●父親の参加が少ない。	●支援を必要とする対象者への訪問や事業参加の呼びかけ(両親での参加の推進を含む)等を継続して行う。	●育児相談会を実施し、子育て支援センター職員の協力を得て親子ふれあい遊びについての情報提供など行う。 ●赤ちゃん訪問や電話を通して、育児相談会への参加の呼びかけを強化する。	
男性の家事や育児への参画促進	男性を対象とした家事や育児に関する啓発	○児童や生徒と保護者との親子のふれあい講座の開催 ○料理教室や家庭教育講座の開催	生涯学習・文化財保護課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	
				●生涯学習センター、公民館等で家庭教育に関する講座、親子のふれあい講座を開催する。	●親子のふれあい講座 ⇒24回 414名 ●小・中学校保護者に対する子育て講座 ⇒3回 ●家庭教育講演会 ⇒1回 65名	●家庭や家族生活を大切にする意識付けができた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●男性(父親)の参加が少ない。	●親子で体験できる機会をつくり、開催時間を工夫するなどして男性の参加を促す。	●生涯学習センター、公民館等で家庭教育に関する講座、親子のふれあい講座を開催する。	
男性の家事や育児への参画促進	出産や育児を夫婦が協力して取り組むための啓発	○医療機関が実施する両親学級への参加状況や妊娠、育児中の周囲の協力状況についての確認や、個々の面談などを通じてきめ細かな支援の実施	健康長寿課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	
				●妊娠届出時にイクメン推進の冊子を配布し、育児方法や支援等の情報提供を行う。	●妊娠届出時にイクメン推進の冊子や男性の育休取得に関する冊子を配布した。(妊娠届出数132件)	●妊娠届出時や訪問時に家庭環境や育児環境を把握し、妊娠から育児期間の周囲の育児サポートについて情報提供ができた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関での両親学級への父親の参加ができず、出産までに育児方法等の知識が不足している。	●妊娠届出時に厚生労働省発行のイクメン推進の冊子を配布し積極的な育児参加の呼びかけを実施する。	●妊娠届出時にイクメン推進の冊子を配布し、育児方法や支援等の情報提供を行う。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅰ みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策Ⅱ ワーク・ライフ・バランスの実現の環境づくり

施策の方向(1) 男女がともに働くための環境整備

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
男性の家事や育児への参画促進	育児休業や介護休業を利用しやすい職場環境の整備	○県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動の実施	産業政策課	●育児・介護休暇の取得にかかる補助や男性の育休支援施策の実施により、職場環境の整備を促進する。	●育児・介護休暇の取得にかかる補助要員の確保や男性の育休取得促進のための補助事業を実施した。	●育児・介護休暇の取得にかかる補助要員の確保に対する補助及び男性の育休取得補助により、男性の家事や育児への参画促進について支援することができた。	
				●県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動を実施する。	●福井労働局が作成するワーク・ライフ・バランスを啓発するチラシを窓口設置した。		
				●育児休業や介護休業の利用しやすい職場環境を一層増やしていく必要がある。	●今後も継続して、市内企業に働きかけを行っていく。	●令和5年度実施計画	
女性の視点から見る男女共同参画	アンケート調査の実施	○市民を対象に、大野市のイメージや課題、活性化策などについてのアンケートの実施	政策推進課	●実施予定なし	—	—	・審議会などへの女性の登用率 ⇒30% ・市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒40% ・市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒20% ・女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒10% ・市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒13%
女性の視点から見る男女共同参画	アンケート調査の実施	○市民を対象に、大野市のイメージや課題、活性化策などについてのアンケートの実施	総務課	●今年度実施予定なし	—	—	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標 I みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策 2 ワーク・ライフ・バランスの実現の環境づくり

施策の方向 (1) 男女がともに働くための環境整備

施策の内容	施策の内容 (詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
女性の視点から見る男女共同参画	若い女性の意見の徴集	○子育て支援策などについて、若い女性の視点による意見を聴く会の開催	総務課	●女性リーダー育成講座を開催し、アンケートを実施する。	●女性リーダー育成講座を開催し、終了後アンケートを実施した。	●働く女性から、子育て、仕事の悩みを共有し、他の人の考えを聞くことで、今後の行動のヒントを得ることができたなど意見を聞くことができた。	・審議会などへの女性の登用率 ⇒30% ・市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒40% ・市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒20% ・女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒10% ・市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒13%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●継続的な取組が必要である。	●参加しやすい講座等の企画をする。	●女性リーダー育成講座を開催し、アンケートを実施する。	
女性の視点から見る男女共同参画	若い女性の意見の徴集	○子育て支援策などについて、若い女性の視点による意見を聴く会の開催	こども支援課	●地域子育て支援センターや子育て交流広場利用者に対するアンケートを実施する。	●利用者に子育てについて、意見を聞く機会を設けた。	●集まった意見に基づき、事業の内容見直しなど改善を行った。	・市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒13%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●より多くの女性の意見を聞く機会の設定。	●地域子育て支援センターや子育て交流広場を利用する女性からだけでなく、オンラインで参加できるアンケート等で広く意見を吸い上げる。	●第3期子ども子育て支援事業計画策定に向け実施するアンケートの中で、若い女性に子育て支援策等について意見を聞く。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅰ みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策Ⅱ ワーク・ライフ・バランスの実現の環境づくり

施策の方向(2) 男女がともに担う育児と介護の環境整備

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
子育て支援の充実	男女がともに担う家事や子育ての促進	○男女の育児や家事の参画促進を目的とした講座の開催	総務課	●男性の意識改革をテーマとした子育て講座を開催する。 ●募集に対し、参加者数が少なく、増加を図る必要がある。	●父親と3歳から小学生の子どもを対象として、「大野っ子ママもパパも一緒に子育て講座」を開催した。 ●参加しやすい講座等の企画をする。また、父親の家事、育児等の相談を充実させる。	●5組14名の参加があり、アンケート結果から満足度は100%であった。 ●男性の意識改革をテーマとした子育て講座を開催する。	・ 審議会などへの女性の登用率 ⇒ 30% ・ 市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒ 40% ・ 市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒ 20% ・ 女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒ 10% ・ 市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒ 13%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
子育て支援の充実	男女がともに担う家事や子育ての促進	○男女の育児や家事の参画促進を目的とした講座の開催	こども支援課	●新型コロナウイルス感染症対策を講じた講座の開催 ●より多くの人が気軽に参加できるような時間帯、日時の設定	●県と共同で男女一緒に家事をする「共家事講座」を開催した。 ●週末などに開催するほか、オンラインでも受講できるようにする。	●若い世代の夫婦等が参加し、男性の家事参画について理解を深める機会を提供した。 ●子ども連れでも参加できる回など設けて、家事や育児を身近に感じる機会を作る。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
子育て支援の充実	男女の育児休業取得の促進	○育児休業の取得に協力する事業所に対する支援 ○県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動の実施	産業政策課	●育児・介護休業の取得にかかる補助や男性の育休支援施策の実施により、職場環境の整備を促進する。 ●県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動を実施する。 ●育児・介護休業の取得を促進し、子育てしやすい企業を増やしていく必要がある。	●育児・介護休業の取得にかかる補助要員の確保や男性の育休取得促進のための補助事業を実施した。 ●福井労働局が作成するワークライフバランスを啓発するチラシを窓口設置した。 ●今後も継続して、市内企業に働きかけを行い、支援していく。	●育児・介護休業や男性の育休の取得を促進することができた。 ●育児・介護休業の取得にかかる補助や男性の育休支援施策の実施により、職場環境の整備を促進する。 ●県や商工会議所などの関係機関や団体と連携した啓発活動を実施する。	
子育て支援の充実	保育サービスの充実	○一時預かりや病児デイケア事業、「すみずみ子育てサポート」など、保護者のニーズに対応した事業の実施	こども支援課	●新型コロナウイルス感染症対策の徹底 ●第2子以降や、多胎児第1子が利用料無料になったことに伴い、サービスを利用しやすい環境になり、適切にサービスを提供できた。	●新型コロナウイルス感染症対策を行いながら保護者のニーズに対応するために、事業を実施した。 ●気軽にお困りごとに合ったサービスをご利用いただけるようSNS、HP、市報等で周知を強化する。	●新型コロナウイルスによる利用控えがあったものの、適正にサービスを提供することができた。 ●必要な方に必要なサービスが届く体制の維持。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標 I みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策 2 ワーク・ライフ・バランスの実現の環境づくり

施策の方向 (2) 男女がともに担う育児と介護の環境整備

施策の内容	施策の内容 (詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和 4 年度実施計画	Do 令和 4 年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和 1 2 年度)		
子育て支援の充実	育児相談の体制の充実	○子育て支援センターや保健センターなどの関係機関と連携した相談会の実施	こども支援課	●チャットボットを活用した子育てに関する相談への対応を行う。	●実施なし	-	・ 審議会などへの女性の登用率 ⇒ 30% ・ 市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒ 40% ・ 市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒ 20% ・ 女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒ 10% ・ 市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒ 13%		
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和 5 年度実施計画			
				●相談を受ける体制の確保に加え、相談しやすい環境を整える必要がある。	●オンライン相談について周知する。チャットボットの活用など、デジタル化を推進することで若い世代への相談体制を充実させる。	●チャットボット活用も視野に入れ、気軽に子育てに関する相談できる体制を整備する。			
子育て支援の充実	育児相談の体制の充実	○子育て支援センターや保健センターなどの関係機関と連携した相談会の実施	健康長寿課	●育児相談会を実施し、各関係機関からの専門職の派遣による育児相談体制を充実させる。	●育児相談会において以下の内容を実施した。 ・子育て支援センター保育士：センター紹介、親子遊びの実施 ・大野消防署救急救命士：小児救急の対応方法の情報提供 ・県助産師会助産師：母乳相談(開催回数) 23回/年(参加者数) 児：456人 保護者：452人(母乳相談) 58人	●育児相談会に参加した保護者に対して、各機関から派遣された職員からの指導により育児相談体制を充実することができた。	・ 審議会などへの女性の登用率 ⇒ 30% ・ 市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒ 40% ・ 市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒ 20% ・ 女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒ 10% ・ 市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒ 13%		
				●子育て支援センター保育士によるセンター紹介や親子遊び	●消防署救急救命士による小児救急の対応方法の情報提供	●県助産師会助産師による母乳相談		Act 改善方策	Plan 令和 5 年度実施計画
				●参加者数が少ない。	●支援を必要とする対象者への訪問や事業参加の呼びかけ等を継続して行う。	●育児相談会を実施し、各関係機関からの専門職の派遣による育児相談体制を充実させる。ミニ講座を開催し、保護者の知りたい情報について講座を開催する。			

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標 I みんなの個性が発揮され多様性に富んだ元気な社会づくり

重点施策 2 ワーク・ライフ・バランスの実現の環境づくり

施策の方向 (2) 男女がともに担う育児と介護の環境整備

施策の内容	施策の内容 (詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
介護支援の充実	女性の介護負担の軽減	○介護保険制度などの周知と適正なサービスの利用促進 ○ケアマネジャーを通じた家族員による役割分担の促進	健康長寿課	●介護者自らが介護負担を自己チェックできるツール「こころの健康気づきシート」を作成、窓口を設置したほか、関係機関に配布した。また、シートの内容をホームページに掲載した。(関係機関への配布部数: 430部、窓口で市民が持ち帰った部数: 15部)	●介護者自らが介護負担を自己チェックできるツールの作成・活用、ケアマネによる介護者への介護負担アセスメントシート継続実施・支援の啓発	●「こころの健康気づきシート」を作成し窓口を設置することで、市民が気軽に手に取ることができ、当事者や周辺住民が介護疲れに気づききっかけにつながった。 ●「介護負担アセスメントシート」を実施することで、介護者の負担を数値化して客観視することができ、適切な支援につながった。	・ 審議会などへの女性の登用率 ⇒ 30% ・ 市職員における役職者に占める女性の比率(課長補佐) ⇒ 40% ・ 市職員における女性管理職比率(課長級以上) ⇒ 20% ・ 女性が地域活動のリーダーとなっている自治会などの比率 ⇒ 10%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●女性が介護を担うのが当然という意識がまだ強く、介護者1人に負担がかかりがちである。	●介護者への負担を把握・軽減するための支援を継続して行う必要がある。	●「こころの健康気づきシート」の普及啓発を継続 ●ケアマネジャーによる「介護負担アセスメントシート」の継続実施と結果に基づく支援の調整 ●介護者支援をテーマに、ケアマネジャーを対象とした研修を実施	
施策の内容	施策の内容 (詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	
介護支援の充実	介護予防事業の充実化	○フレイル予防や高齢者の健康づくり講座の実施 ○住民主体の通いの場や健康サポーターの活動促進	健康長寿課	●公民館より身近な集落センターなどでの講座を充実させる。	●フレイルチェック 公民館 ⇒ 2回 集落センター ⇒ 10回	●身近な集落センターにて、フレイルチェックを行い、予防について周知啓発できた。	・ 市職員における男性の育児休業、部分休業、育児短時間勤務制度いずれかの取得率 ⇒ 13%
				●サポーターの資質向上や継続した活動を支援するためフォローアップ講座を実施する。	●元気づくり体操クラブ 下庄公民館 ⇒ 10回 ●フォローアップ研修会 ⇒ 1回	●フレイルサポーターと健康サポーター合同で研修会を行い、資質向上とサポーター同士の交流を図ることができた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●高齢者でフレイルについて知っている人はまだまだ少なく、周知啓発の必要が高い。	●小さい単位での啓発活動とあわせて、イベントなど多数の人が集まる場でも、周知啓発をはかってく。	●【継続】公民館・集落センターでのフレイルチェック実施 ●【新規】福祉ふれあいまつりなど、大型のイベントにあわせてフレイルチェックを行う。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅱ だれもが生き生きと暮らせる地域づくり
 重点施策1 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
 施策の方向(1) 女性の健康支援

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
妊娠・出産期における健康管理の支援と健康の充実	妊娠から産後における相談や支援の充実	○母子健康手帳の交付や育児相談会の開催	健康長寿課	●母子健康手帳の交付や育児相談会の開催	●妊娠届出数 ⇒ 131件 ●母子手帳交付 ⇒ 132件 ●育児相談会 ⇒ 23回/年	●母子健康手帳交付時に保健師・管理栄養士等の専門職による妊婦相談を実施し、必要な保健指導を行った。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●母子手帳交付時の窓口面談だけでは、十分に情報を把握できないことがある。	●こども支援課(子育て世代包括支援センター)と子育て世代包括支援会議を行い、妊婦に関する情報共有を行う。	●母子健康手帳の交付や育児相談会の開催	
妊娠・出産期における健康管理の支援と健康の充実	安心して出産できる体制の強化	○子育て包括支援センターにおける相談などの支援の実施 ○妊産婦・乳児健康診査、新生児聴覚検査の実施 ○母乳外来費用の助成 ○妊婦情報事前登録制度の整備	健康長寿課	●子育て包括支援センターにおける相談などの支援の実施 ●妊産婦・乳児健康診査、新生児聴覚検査の実施(未受診者の把握も含む) ●母乳外来費用の助成 ●妊婦情報事前登録制度	●子育て世代包括支援会議にて情報共有の実施(12回/年) (妊婦健診) 受診者数 ⇒ 212人 受診回数 ⇒ 1,627回 (産婦健診) 受診者数 ⇒ 144人 (母乳外来) 助成者数 ⇒ 28人、59回 (乳児健診) 1ヶ月児 ⇒ 143人 4ヶ月児 ⇒ 142人 9~10ヶ月児 ⇒ 121人 (新生児聴覚検査)136人 (妊婦情報事前登録制度)103件	●妊産婦健診、乳児健診、母乳外来費等の助成を行い母子の心身の健康づくりを図ることができた。	・生活習慣病予防のための特定健診受診率(大野市国民健康保険加入者) ⇒ 60%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●未受診者の対応ができない。 (流・死産や疾病等により受診できない、医療で受診している場合がある)	●妊産婦および乳児健診の受診状況から受診者について把握する。	●子育て包括支援センターにおける相談などの支援の実施 ●妊産婦・乳児健康診査、新生児聴覚検査の実施(未受診者の把握も含む) ●母乳外来費用の助成 ●妊婦情報事前登録制度	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅱ だれもが生き生きと暮らせる地域づくり

重点施策1 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり

施策の方向(1) 女性の健康支援

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
男女の健康を生涯にわたり包括的に支援	生涯を通じた健康支援や性差に応じた健康支援の充実	○育児相談会、母乳相談、幼児健康診査における相談の実施 ○福井県看護協会が実施する助産師による女性の健康相談の周知 ○婦人がん検診、健康栄養相談、歯科相談、歯科検診における性差に応じた健康相談の実施	健康長寿課	●育児相談会、母乳相談、幼児健康診査における相談の実施 ●福井県看護協会が実施する助産師による女性の健康相談の周知 ●婦人がん検診、健康栄養相談、歯科相談、歯科検診における性差に応じた健康相談の実施	●助産師による女性の健康相談の周知カードを育児相談会で配布したり、婦人がん健診や県内のレディース健診の周知等を実施した。 (婦人がん健診) 実施回数 【集団】子宮頸がん検診19回/年 乳がん検診22回/年 【個別】医療機関において6~2月に実施 (健康栄養相談) 実施回数 ⇒7回/年 参加者数 ⇒16人 (歯科相談) 実施回数 ⇒15回 受診者数 ⇒271人 (歯科健診) 実施回数 ⇒5回 受診者数 ⇒46人	●住民が希望する健康支援サービスを提供できた。健康おおの21の5つの推進項目【身体活動、栄養・食生活、たばこ・アルコール、休養・こころの健康、歯・口腔の健康】について推進できた。	・生活習慣病予防のための特定健診受診率(大野市国民健康保険加入者) ⇒60%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●【歯・口腔】歯科相談や歯科検診は住民健診会場において全受診者対象に実施しているが、受診割合が低い。 ●【歯・口腔】検診会場において、プライバシーに配慮し、受診しやすい雰囲気づくりに努めると共に受診勧奨をする。受診者数を増やし、歯・口腔の健康づくりを推進する。	●育児相談会、母乳相談、幼児健康診査における相談の実施 ●福井県看護協会が実施する助産師による女性の健康相談の周知 ●婦人がん検診、健康栄養相談、歯科相談、歯科検診における性差に応じた健康相談の実施		
男女の健康を生涯にわたり包括的に支援	生活習慣病予防のための特定健診受診の推進	○受診勧奨通知や広報おおのによる受診勧奨の実施	市民生活・統計課	●対象者への受診券送付 ●広報おおのでの周知啓発 ●未受診者への受診勧奨 ●継続受診者への受診勧奨	●受診券の送付 ⇒11,675件 ●広報おおの ⇒人間ドック1月・2月号掲載 ⇒集団検診・個別検診 6月・12月号掲載 ●(40-74歳国民健康保険被保険者)過去5年間未受診者への受診勧奨 ⇒2,112件 ●継続受診者への受診勧奨 ⇒1,713件	●勧奨後受診者 過去5年間未受診者 ⇒203名 毎年受診者 ⇒412名 不定期受診者 ⇒758名 ●特定健診受診率(見込み) ⇒38.0% (40-74歳国民健康保険被保険者)	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●令和3年度の受診率より伸びたものの目標値の60%には達していない。 ●継続受診の促進と未受診者の削減が必要である。	●引き続き、未受診者等への受診勧奨の実施 ●被保険者の健康意識の高揚を図り、特定健診の受診率向上につなげる。	●対象者への受診券送付 ●広報おおのでの周知啓発 ●未受診者への受診勧奨 ●継続受診者への受診勧奨	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅱ だれもが生き生きと暮らせる地域づくり

重点施策1 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり

施策の方向(2) 貧困による生活困難者や、高齢者、障がい者などが安心して暮らせる環境整備

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
生活困難者の自立支援	状態に応じたきめ細かな福祉サービスの提供	○生活困窮者自立支援事業や生活保護などによる自立支援	福祉課	●関係機関との連携を密にした、生活困窮者の自立支援	●新規の相談44件、前年度からの継続62件を合わせた106件の相談があり、うち71件が終了した。	●自立相談支援センターフラットを中心に、関係機関が連携し、生活困窮者の自立を支援した。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				—	—	●関係機関との連携を密にした、生活困窮者の自立支援	
ひとり親家庭への自立支援	母子・父子自立支援員による相談や指導などの支援	○ひとり親家庭の生活安定と自立促進のための福祉サービス提供や相談体制の強化	こども支援課	●ひとり親に関する幅広い情報を発信する。	●母子・父子自立支援員による適切な相談・指導を行うとともに、各種助成事業による経済的支援を行った。	●福祉サービスの提供と相談体制の強化により、ひとり親家庭の自立を支援した。	・生活習慣病予防のための特定健診受診率(大野市国民健康保険加入者) ⇒60%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●受付や現況届提出の際に、ひとり親の雇用の安定や就業の促進に係る支援制度の更なる周知	●ひとり親に関するさまざまな情報を広く周知する。	●ひとり親に関する幅広い情報を発信する。	
在宅福祉サービスの充実	相談体制を強化し、ニーズを的確に把握することによるきめ細かな在宅サービスの提供	○障害福祉サービス事業や地域生活支援事業の提供	福祉課	●障がいのある人やその家族のニーズに応じた障害福祉サービス等の提供	●介護給付3,695件、訓練等給付2,715件の障害福祉サービスを提供した。また、日中一時支援は1,771回の利用があった。	●障がい者の状況に応じた福祉サービスを提供した。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				—	—	●障がいのある人やその家族のニーズに応じた障害福祉サービス等の提供	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅱ だれもが生き生きと暮らせる地域づくり

重点施策1 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり

施策の方向(2) 貧困による生活困難者や、高齢者、障がい者などが安心して暮らせる環境整備

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
在宅福祉サービスの充実	相談体制を強化し、ニーズを的確に把握することによるきめ細かな在宅サービスの提供	○地域包括支援センターや在宅介護支援センターでの相談支援の実施と、適切な在宅福祉サービスの提供	健康長寿課	●地域包括支援センターでの相談件数 ⇒ 850件	●地域包括支援センターでの相談件数 ⇒ 956件	●家族や親族からの相談件数が多く、訪問等により対応できた。 ●関係機関と情報共有を図りながら細やかに対応することができた。 ●ケアマネ会議・地域ケア会議での事例検討会を通して、支援の検討を行うことができた。	・生活習慣病予防のための特定健診受診率(大野市国民健康保険加入者) ⇒ 60%
				●在宅介護支援センターでの相談件数 ⇒ 1,210件	●在宅介護支援センターでの相談件数 ⇒ 915件		
				●ケアマネ会議での事例検討会 ⇒ 1回	●ケアマネ会議での事例検討会 ⇒ 2回		
				●地域ケア会議での事例検討会 ⇒ 3回	●地域ケア会議での事例検討会 ⇒ 3回	Plan 令和5年度実施計画	
				Check 見えた課題	Act 改善方策		
				●適切な医療や介護サービス等に上手く繋がらないケースも増えており、関わりが長期間になっている。 ●ケアマネ会議・地域ケア会議での事例検討会での助言者(アドバイザー)の人材確保が必要	●地域包括支援センターと在宅介護支援センターで情報共有を行いながら、関わりが必要なケースについては継続支援していく。 ●県の支援事業等を活用し、助言者(アドバイザー)の充実を図る。	●地域包括支援センターでの相談件数 ⇒ 900件 ●在宅介護支援センターでの相談件数 ⇒ 1,200件 ●ケアマネ会議での事例検討会 ⇒ 1回 ●地域ケア会議での事例検討会 ⇒ 3回	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅱ だれもが生き生きと暮らせる地域づくり

重点施策2 安全に暮らせる地域づくり

施策の方向(1) 快適で安全に暮らすための環境整備

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
防災・防火・防犯への女性参画推進	女性消防団員のさらなる活躍	○結の故郷女性分団の活動の拡充と高齢者世帯への防火訪問などの地域に密着した活動の実施	消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ●1 自主防災訓練、防火講話及び地区単位敬老会等での防火寸劇の実施 ●2 高齢者宅防火訪問を目標150世帯実施とし、令和4年秋季に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●1 新型コロナウイルス感染防止策として、防火寸劇の出向依頼はなし。 ●2 高齢者宅防火訪問を143世帯に実施し、女性団員21名が参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●1 出向依頼が無いため、成果なし。 ●2 女性団員を主体に高齢者宅の防火診断を実施し、火災予防啓発が図れた。 	・生活習慣病予防のための特定健診受診率(大野市国民健康保険加入者) ⇒60%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				<ul style="list-style-type: none"> ●1 新型コロナウイルス感染防止により、出向依頼が無いため、課題が検証できない。 ●2 参加団員への事前教養を行い、事業を継続することで、高齢化社会に対する火災予防啓発の向上が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1 アフターコロナとして、時代にあった防火寸劇内容に変更し事業を継続する。また出向依頼の内容に柔軟に対応する。 ●2 参加団員への事前研修により、防火指導に対する知識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1 自主防災訓練、防火講話及び地区単位敬老会等での防火寸劇の実施 ●2 高齢者宅防火訪問の目標数値を300世帯とし、令和5年秋季に実施 	
防災・防火・防犯への女性参画推進	自主防災組織の防災活動における男女共同参画の促進	○自主防災組織の防災訓練時などにおける女性の防災活動への積極的な参加の要請	防災防犯課	<ul style="list-style-type: none"> ●女性の考え及び視点を活かした防災訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災訓練実施回数 ⇒令和4年度57回 	<ul style="list-style-type: none"> ●防災防犯課職員が出向いた各地区の自主防災訓練では、ほぼ女性が参加していた。 ●自主防災訓練実施区の内、2地区において地域の防災マップ作成作業に女性も参加した。 	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				<ul style="list-style-type: none"> ●女性が活動しやすい環境づくりを積極的に進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●各自主防災組織に女性の防災活動の参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織の防災訓練、市総合防災訓練において、女性の防災活動への参加を呼び掛ける。 	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅱ だれもが生き生きと暮らせる地域づくり

重点施策2 安全に暮らせる地域づくり

施策の方向(1) 快適で安全に暮らすための環境整備

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
防災・防火・防犯への女性参画推進	女性や要配慮者の視点に立った避難所の運営体制の整備	○避難所における性犯罪防止やプライバシーの確保など、運営体制全般にわたり女性や要配慮者が安心して避難生活を送ることができる避難所運営 ○女性消防団員と連携した避難者支援体制の充実	防災防犯課	●避難所において性犯罪防止やプライバシーの確保などを行うため、避難所の運営に女性の考えを入れることができるよう、女性消防団員等との連携を図る。	●避難所運営管理責任者、避難所開設・運営委員に女性職員を割りあてた。 ●女性消防団員に市総合防災訓練への参加を依頼	●女性の視点に立った避難所運営ができる体制ができた。 ●女性消防団員に市総合防災訓練避難所設置・運営訓練に参加いただき、避難所運営の際の連携体制を確認した。	・生活習慣病予防のための特定健診受診率(大野市国民健康保険加入者) ⇒60%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●今後も、女性の視点に立ったプライバシー空間を確保できる施策を検討していく必要がある。	●市総合防災訓練参加者から、意見徴集を行う。	●避難所における性犯罪防止やプライバシーの確保など、運営体制全般にわたり女性や要配慮者が安心して避難生活を送ることができる避難所運営を整備していくとともに、女性消防団員との連携を図る。	
防災・防火・防犯への女性参画推進	女性や要配慮者の視点に立った避難所の運営体制の整備	○避難所における性犯罪防止やプライバシーの確保など、運営体制全般にわたり女性や要配慮者が安心して避難生活を送ることができる避難所運営 ○女性消防団員と連携した避難者支援体制の充実	消防本部	●市総合防災訓練で実施する避難所運営訓練に女性団員が継続して参加し、避難所運営体制の問題点の検証と技術の標準化を図る。	●昨年に引き続き、富田地区で実施された防災訓練(避難者受け入れ訓練)に女性団員が5名参加し、避難者の模擬的な検温や問診を行った。	●避難所の受付補助として、職員の指示に従いスムーズに実施することができた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●全ての女性団員が同じスキルを体得できるよう、技術を標準化していかなければならない。また、女性ならではのきめ細かい活動が行えるよう、避難所での他業務の運営補助訓練を行う必要がある。	●消防団員教育等を活用し、避難所運営訓練に関する教養並びに訓練を実施し、知識・技術の標準化を図る。	●市総合防災訓練で実施する避難所運営訓練に女性団員が継続して参加し、避難所運営体制の問題点の検証と技術の標準化を図る。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅱ だれもが生き生きと暮らせる地域づくり

重点施策2 安全に暮らせる地域づくり

施策の方向(2) あらゆる暴力の根絶

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
女性に対する暴力など人権侵害行為の根絶	民生委員・児童委員や地域福祉関係者との連携を図ることによる、DVなどの発見・通報支援体制の強化	○支援申請者の住民票などの交付制限	市民生活・統計課	●DV被害者等からの支援措置申出に基づき住民基本台帳事務を適正に実施する。 Check 見えた課題 ●支援措置制度に関する法令や通知等を遅滞することなく確認、対応することが必要である。	●DV被害者等の支援措置について、適正に対応し、関係課と情報を共有した。 Act 改善方策 ●引き続き法令等を遵守し、適正な事務を執行する。	●DV被害者等の支援措置(決定・更新・終了)について、適正に対応した。 Plan 令和5年度実施計画 ●DV被害者等からの支援措置申出に基づき住民基本台帳事務を適正に実施する。	・生活習慣病予防のための特定健診受診率(大野市国民健康保険加入者) ⇒60%
女性に対する暴力など人権侵害行為の根絶	民生委員・児童委員や地域福祉関係者との連携を図ることによる、DVなどの発見・通報支援体制の強化	○民生委員・児童委員による見守りと通報体制の強化並びに活動の支援	福祉課	●DV等の発見・見守り活動の支援 ●関係機関との連携強化と、地域内の福祉関係者との情報の共有 Check 見えた課題 ●コロナ禍での見守り活動の継続	●民生委員・児童委員からのDV等発見の通報はなかった。 Act 改善方策 ●見守り活動の継続	●地域福祉関係者と連携を図り、民生委員・児童委員による見守り活動を実施した。 Plan 令和5年度実施計画 ●DV等の発見・見守り活動の支援 ●関係機関との連携強化と、地域内の福祉関係者との情報の共有	
女性に対する暴力など人権侵害行為の根絶	民生委員・児童委員や地域福祉関係者との連携を図ることによる、DVなどの発見・通報支援体制の強化	○関係機関と連携し、学校での児童や生徒の異常の早期発見	教育総務課	●いじめ問題対策連絡協議会において関係機関との連携を図りいじめや暴力について、未然防止、早期発見、早期解決に向けた取り組みを協議する。 Check 見えた課題 ●いじめ重大事案が実際に発生した時の迅速な対応	●いじめ問題対策連絡協議会において関係機関との連携を図りいじめや暴力について、未然防止、早期発見、早期解決に向けた取り組みを協議した。 Act 改善方策 ●他市町の取組事例を参考にしながら、発生時の動きについて確認する。	●関係機関が、いじめや暴力について未然防止、早期発見、早期解決に向けた取り組みの重要性を共通理解できた。 Plan 令和5年度実施計画 ●いじめの未然防止や早期発見の体制を整える。小さなトラブルであっても背景に深刻な問題がないかをしっかりと捉え、早期発見・早期の丁寧な対応を推進する。	
DVの防止対策	DVを未然に防ぐための啓発	○児童と女性については、家庭児童相談員や母子・父子自立支援員による支援とともに、児童相談所や奥越健康福祉センターなどの関係機関と連携した相談支援体制の強化 ○障がい者については、障がい者相談支援センターや障がい者権利擁護センターと連携した相談支援体制の強化	こども支援課	●DVに関する幅広い情報を発信する。 Check 見えた課題 ●表面化していないDVに対する対応	●DVに関する相談に適正に対応した。 Act 改善方策 ●DVに関する市民への意識啓発を行う。	●DVに関する長期化するような問題は生じていない。 Plan 令和5年度実施計画 ●DVに関する幅広い情報を発信する。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅱ だれもが生き生きと暮らせる地域づくり

重点施策2 安全に暮らせる地域づくり

施策の方向(2) あらゆる暴力の根絶

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
DVの防止対策	DVを未然に防ぐための啓発	○児童と女性については、家庭児童相談員や母子・父子自立支援員による支援とともに、児童相談所や奥越健康福祉センターなどの関係機関と連携した相談支援体制の強化 ○障がい者については、障害者相談支援センターや障がい者権利擁護センターと連携した相談支援体制の強化	福祉課	●障害者虐待防止センターによる虐待やDVの早期発見と、関係機関連携による相談体制の強化 Check 見えた課題	●障がい者虐待の通報は4件あった。 Act 改善方策	●障がい者虐待の疑わしい案件を、早期に発見することができた。 Plan 令和5年度実施計画	・生活習慣病予防のための特定健診受診率(大野市国民健康保険加入者) ⇒60%
DVの防止対策	DVを未然に防ぐための啓発	○高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議や高齢者虐待防止講演会などの開催 ○地域包括支援センターと関係機関が連携した相談支援体制の強化 ○介護者の状況把握体制整備による介護負担への早期対応	健康長寿課	●高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議を毎年1回開催し、関係機関の役割を共有し連携を図る。 ●高齢者虐待防止上映会の実施、虐待とそれに繋がる不適切な対応を市報で広報し、加えて相談窓口の周知等を繰り返し行うことで、虐待防止の啓発に繋げる。 Check 見えた課題	●8月に高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議を実施 ●8月にオンライン形式で、高齢者虐待防止映画上映会を実施(市民:54人) ●虐待とそれに繋がる不適切な対応を市報で広報し、加えて相談窓口の周知等を繰り返し行うことで、虐待防止の啓発に繋げた。(広報おおの7月号に記事掲載) Act 改善方策	●高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議を開催し、関係機関の役割を共有し連携の必要性を確認した。 ●虐待防止と認知症の上映会を同時開催し、市民や事業所職員の認知症・虐待への知識が深まった。 Plan 令和5年度実施計画	
DVの防止対策	DVを未然に防ぐための啓発	○高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議や高齢者虐待防止講演会などの開催 ○地域包括支援センターと関係機関が連携した相談支援体制の強化 ○介護者の状況把握体制整備による介護負担への早期対応	健康長寿課	●正しい知識がないために、虐待者が無自覚のまま虐待となってしまうケースがあり、市民への虐待・認知症の普及啓発を継続していくことが必要である。被虐待者の背景にDVが隠れている場合もあり、被虐待者自身への支援が必要なことも多い。 ●虐待等を早期に発見・対応するためには、関係機関と連携した介入が重要であり、連絡会議等様々な場面で連携を図っていくことが必要	●高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議や、事例対応において、日頃から地域や関係機関との連携を密にしておく。 ●市報等において、虐待への正しい知識や高齢者に関する相談先の周知啓発を継続する。	●高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議を毎年1回開催し、関係機関の役割を共有し連携を図る。 ●高齢者虐待防止上映会の実施、虐待とそれに繋がる不適切な対応を市報で広報し、加えて相談窓口の周知等を繰り返し行うことで、虐待防止の啓発に繋げる。	
セクシャル・ハラスメントや性犯罪防止対策	セクシャル・ハラスメントなどの防止に向けた啓発	○ふくい女性財団による地域連携講座や教育連携講座を活用した周知	総務課	●今年度実施予定なし Check 見えた課題	— Act 改善方策	— Plan 令和5年度実施計画	
				—	—	●今年度実施予定なし	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅱ だれもが生き生きと暮らせる地域づくり

重点施策2 安全に暮らせる地域づくり

施策の方向(2) あらゆる暴力の根絶

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
セクシャル・ハラスメントや性犯罪防止対策	セクシャル・ハラスメントなどの防止に向けた啓発	○ふくい女性財団による地域連携講座や教育連携講座を活用した周知	産業政策課	●ふくい女性財団のほか、県や商工会議所など関係機関と連携した啓発活動を実施する。	●福井労働局と連携し、市ホームページでセクシャルハラスメント対策の取組みについて啓発した。	●セクシャルハラスメントの防止に向けた啓発を行うことができた。	・生活習慣病予防のための特定健診受診率(大野市国民健康保険加入者) ⇒60%
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●セクシャルハラスメントの防止を継続して啓発していく必要がある。	●今後も継続して、市内企業に働きかけを行っていく。	●ふくい女性財団のほか、県や商工会議所など関係機関と連携した啓発活動を実施する。	
セクシャル・ハラスメントや性犯罪防止対策	性犯罪を未然に防ぐための広報	○警察をはじめとする関係機関と連携した広報や啓発活動の実施	総務課	●関係機関等からチラシ等の配布があった場合、窓口等に配置する。	●実績なし	—	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				—	—	●関係機関等からチラシ等の配布があった場合、窓口等に配置する。	
相談体制の強化	窓口設置による相談や支援体制の強化	○総務課を窓口として関係機関と連携し、市民からの相談に対応	総務課	●総務課を窓口として関係機関と連携し、市民からの相談に対応する。	●実績なし	—	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				—	—	●総務課を窓口として関係機関と連携し、市民からの相談に対応する。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅲ 差別のない社会環境づくり

重点施策1 性別役割分担意識の払拭

施策の方向(1) 男女共同参画教育の充実

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
男女平等を推進する教育	男女が対等に生きる意識づくりや、家族と家庭生活を大切にする教育の取組	○道徳を中心とした各教科の授業や学級活動、クラブ活動などを通じての人権尊重の心情と態度の育成	教育総務課	●各校で道徳教育全体計画を作成し、学校の教育活動全体を通して実践する。	●各校で道徳教育全体計画を作成し、学校の教育活動全体を通して実践した。	●学校の教育活動全体を通して、人権意識を高めることができた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●家庭への啓発も併せて行っていく必要がある。	●学校だよりなどを通じて、授業の様子や児童生徒の声を伝えていく。	●各校で道徳教育全体計画を作成し、学校の教育活動全体を通して実践する。	
男女平等を推進する教育	男女が対等に生きる意識づくりや、家族と家庭生活を大切にする教育の取組	○小、中学校の保護者に対する子育て講座や家庭教育講座の開催	生涯学習・文化財保護課	●予定なし	—	—	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				—	—	●予定なし	
男女共同参画の視点に立った進路指導	性別にとらわれない進路指導	○本人の希望や意思を尊重した進路相談の実施	教育総務課	●全中学校において、生徒対象、保護者対象の進路説明会を実施する。	●各校で県立・私立の高校を招き、生徒対象、保護者対象の進路説明会を実施した。	●生徒の将来の生き方を考え、進路の適切な選択をするための進路指導を充実させた。	・男女共同参画意識向上のための職員向け研修会を開催 ⇒1回/毎年
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●教育活動全般に渡って長期的・継続的に取り組み続ける必要がある。	●受験方法や時期変更等に合わせ、生徒の適切な進路実現ができるよう進路計画を毎年見直す。	●全中学校において、生徒対象、保護者対象の進路説明会を実施する。	
男女共同参画の視点に立った進路指導	性別にとらわれない職業意識の育成	○広い分野における職場体験学習の実施などによる職業観の育成	教育総務課	●全中学校において職場体験などのキャリア教育に取り組む。	●全中学校において職場体験などのキャリア教育に取り組んだ。	●個々の適性に応じた充実した進路指導が展開された。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●教育活動全般に渡って長期的・継続的に取り組み続ける必要がある。	●職業調べなどを充実させ、キャリア教育の充実を図る。	●全中学校において職場体験などのキャリア教育に取り組む。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅲ 差別のない社会環境づくり

重点施策1 性別役割分担意識の払拭

施策の方向(1) 男女共同参画教育の充実

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
職員の意識深化	男女共同参画や人権教育の推進	○全職員に対する研修会の実施	総務課	●新採用職員向けの研修を実施する。	●実績なし	—	・男女共同参画意識向上のための職員向け研修会を開催 ⇒1回/毎年
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				—	—	●全職員向けの研修を実施する。	
職員の意識深化	男女共同参画や人権教育の推進	○保育士対象研修会での啓発活動の実施	こども支援課	●実施計画なし	●実施なし	—	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				—	—	●実施計画なし	
職員の意識深化	男女共同参画や人権教育の推進	○教職研修会での人権に関する講演会の実施	教育総務課	●県や各団体が主催する人権講習会に参加する。	●県教委主催の地区別人権教育研究協議会に各学校から管理職が出席した。	●人権に対する教職員の意識を深められた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●管理職以外が視聴できるよう期間限定で動画配信があったが、期間外でも視聴できると良い。	—	●県や各団体が主催する人権講習会に参加する。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅲ 差別のない社会環境づくり

重点施策1 性別役割分担意識の払拭

施策の方向(2) 男女の人権尊重と啓発の展開

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
人権問題の啓発	女性や性的マイノリティ(LGBTQ)(※6)などの人権問題に関する啓発	○公民館活動や地域行事を活用した人権啓発、人権ビデオの放映、イベントでのパネル展示の実施 ○保育所や児童センターでの人権紙芝居などの実施	総務課	●別のこども園や児童センターでの人権教室を実施する。 Check 見えた課題	●人権擁護委員と連携して市内3つのこども園で人権教室を実施した。 Act 改善方策	●子どもたちにいじめや陰口について考える機会を作ることができた。 Plan 令和5年度実施計画	数値目標 (令和12年度) ・男女共同参画意識向上のための職員向け研修会を開催 ⇒1回/毎年
				—	—	●別のこども園や児童センターでの人権教室を実施する。	
人権問題の啓発	女性や性的マイノリティ(LGBTQ)(※6)などの人権問題に関する啓発	○公民館活動や地域行事を活用した人権啓発、人権ビデオの放映、イベントでのパネル展示の実施 ○保育所や児童センターでの人権紙芝居などの実施	生涯学習・文化財保護課	●公民館や地域活動を活用した人権啓発や人権ビデオの放映、人権啓発パネル展示を行う。 Check 見えた課題	●パネルシート展示 ⇒6回 ●公民館等への人権ビデオ貸出 ⇒5箇所 ●公民館での人権啓発講座 ⇒4回	●小学生や高齢者に人権啓発に対する意識付けができた。 Plan 令和5年度実施計画	
				●新型コロナウイルスの影響により、イベントなどでの啓発を行える機会が少なかった。	●少人数の集会などで回数を重ねる啓発活動を企画する。	●公民館や地域活動を活用した人権啓発や人権ビデオの放映、人権啓発パネル展示を行う。	
広がりを持った広報啓発	メディアを通じた啓発活動の強化	○広報おおのや新聞、テレビなどを活用しての啓発活動の実施	秘書広報室	●引き続き、市内の個人・団体を紹介する「市民のページ」で、活躍する市内女性を掲載する。 Check 見えた課題	●令和4年度に広報おおの(5月号～4月号)を発行し、市内で活躍する女性を紹介した。 Act 改善方策	●令和4年度に発行した広報おおののうち、市内で活躍する女性として個人5名、グループ5団体を取り上げた。 Plan 令和5年度実施計画	
				●情報収集に苦勞する。	●各課との連携を強め、情報収集の量や質を高めていく。	●引き続き、市内の個人・団体を紹介する「市民のページ」で、活躍する市内女性を掲載する。	
広がりを持った広報啓発	県や市の女性団体などと連携した広報と啓発	○市ホームページなどを活用した県や女性団体などによる活動情報に関する広報の実施	総務課	●県や女性団体などからの依頼があった場合は、市ホームページなどを活用し、活動情報に関する広報を実施する。 Check 見えた課題	●実績なし Act 改善方策	— Plan 令和5年度実施計画	
				—	—	●県や女性団体などからの依頼があった場合は、市ホームページなどを活用し、活動情報に関する広報を実施する。	

大野市男女共同参画プラン進捗状況調査表

基本目標Ⅲ 差別のない社会環境づくり

重点施策1 性別役割分担意識の払拭

施策の方向(2) 男女の人権尊重と啓発の展開

施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	数値目標 (令和12年度)
国際的視野の育成	男女共同参画に関わる国際的な情報や取り組みの情報収集と提供	○公民館と連携し、ALTを活用した国際理解講座の実施	教育総務課	●公民館との連携を強化し、内容の検討をもとにスタッフを増員・強化しながら実施する。	●8月に5日間、地域の人やALTから地域の伝統文化や英語を学んだり、異学年児童で活動したりした。	●地域の歴史や文化、特色を理解したり、いろいろな年齢や立場の人と協力して活動したりする楽しさを味わった。	・男女共同参画意識向上のための職員向け研修会を開催 ⇒1回/毎年
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●児童の実態に合わせた活動の設定や講師を選任することが難しい。	●地域に詳しい人や支援できる人を確保し、協力を仰ぐ。	●公民館との連携を強化し、内容の検討をもとにスタッフを増員・強化しながら実施する。	
施策の内容	施策の内容(詳細)	実施事業	担当課	Plan 令和4年度実施計画	Do 令和4年度事業実績	Check 成果	
国際的視野の育成	男女共同参画に関わる国際的な情報や取り組みの情報収集と提供	○公民館と連携し、ALTを活用した国際理解講座の実施	生涯学習・文化財保護課	●放課後子ども教室や公民館講座で国際交流講座を実施する。	●放課後子ども教室 ⇒1回19名 ●国際交流講座 ⇒3回65名	●放課後子ども教室の参加児童に外国語や外国の文化に触れる機会を提供できた。 ●海外の生活について、現地に住んでいる方から直接話をきくことができた。	
				Check 見えた課題	Act 改善方策	Plan 令和5年度実施計画	
				●新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた講座の多くが中止になった。	●ICTを活用した講座を実施する。	●放課後子ども教室や公民館講座で国際交流講座を実施する。	